令和2年(2020)正月号第135号(1)

行 福島市田沢字寺前18 長秀院・仲興寺

T E L 024(548)1240

FAX 同 上

ホームページ http://www.choshuin.jp/

e-mail info@choshuin.jp/

編集責任・渡辺 祥文



諸福に

切 西邦仏 皆々様のご多幸を心より念じ上げます 原早に 曆曆紀 二今二 発期祈 〇和八 廃復所 〇二六 年年年 元旦 は 進復 展興

国正ら 災寿祈消長る 土法祈 安興る 除久所 稳隆所 は 万修 邦道 和無 平難









は







柴又帝釈天



豊川稲荷東京別院



新国立競技場



迎賓館

ンピック

令和元年十二月五日~六日



成田山新勝寺

んだ旅行会となりました。

らすのでしょうか。皆で話がはず 目の東京オリンピックは何をもた 象徴とするなら今回の改元、二度 ピックが日本の高度成長の基点・



わっています。先の東京オリン 館等を見学して参りました。 寺院並びに令和二年開催の二度目 名の参加を得て、 て令和改元にあたり赤坂離宮迎賓 技場・オリンピック記念館、 の東京オリンピックを控え十一月 三十日完成したばかりの新国立競 東京は工事が続き、どんどん変 令和元年度の旅行会は、 東京千葉方面

赤坂豊川別院、千葉成田山新勝 をバックに懇親を深めました。 した。夕食は屋形舟で東京の夜景 寺院参拝は柴又帝釈天題経寺、 牛久大仏等を参拝して参りま

した。和元年度の県奉詠大会が挙行されまり、「パルセ飯坂」において、令坂温泉「パルセ飯坂」において、令を和元年十一月十三日、福島市飯

n 一同無上の悦びと感じています。奉詠大会に参加できたことを、講 奉詠大会に参加できたことを、講員ても尊いことです。今年も素晴しい に数ヶ月かかりますが、達成感はと 唱えするのが梅花流です。 禅師さまのみ教えを、節をつけてお お唱えしています。お釈迦さまのみ 練習を重ね、皆で笑いあい、 物でありました。毎回お寺に集って なりました。まさに日頃の努力の賜 頃練習に励まれ、立派な登壇奉詠と ご奉詠でした。両講の皆さんは常日 詠を行い、 に挑戦しお唱えできるようになるの がとうございました。 道元禅師さまのみ教え、 第一教区としても立派な 新しい曲

(寺族 拝記)



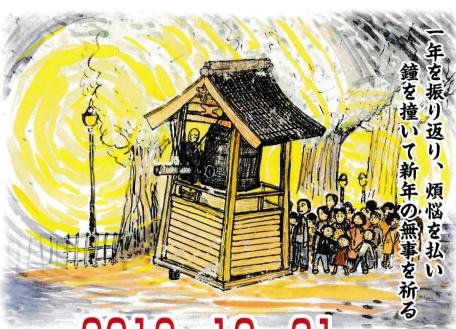
長秀院講



仲興寺講



除夜の鐘



後11時30分打出し

以降

す。何卒宜しくお願い申し上げま

山前に確認をお願いいたし ます。ご相談等の場合はご来 お 年始回礼中は不在となり ね が

二百五十回忌 三百回忌

明

和

年

(ー七七一) 二八二 百五十回忌

治

(一八七一)

一百回忌

文 明

政

四 四

年 年

どうぞ、どなたでもおまいりください。おまちして

除夜の鐘を撞きましょう!!

います。先着順に撞いていただきますので宜しくお

いたします。係の方の誘導に従って下さい。

<u>9</u> 四

三百五十回忌

寛文十一年

元

和

セ

年

(二六二)

享

保

六年

(ー七ニー)

ます。

願

年

IF

当

★長 十二月三十一日 院

元旦 除夜の鐘打出し 午前零時三十分

午後十一時三十分

元朝祈祷

回

元朝祈祷 午前一時三十分

るお宅もでてまいりますので、 しては、年末にご挨拶申し上げ くなってまいりました。 年頭回礼だけでは間に合わな つきま

回忌

昭和五十九年(一九八四 昭和六十三年(一九八八

昭和四十六年(一九七一)

正十年

(一九二二)

年回表

周

七回忌 七回忌 回忌 回忌 回忌 忌 令和元年 平成十六年(二〇〇四 平 平成二十年(二〇〇八 平成二十六年(二〇一四 平成三十年(二〇一八) 成十年(一九九八 成六年 (一九九四 (三〇一九)

月中、年始回礼

命日をご確認ください。ま年回正当のほとけ様方のご お願い

覧頂きますよう、 た、ご連絡と貼り出しをご たします。



烧香師」随行参拝

旅行期日 令和2年4月23日(木)~ 4月25日(土) 2泊3日

旅行代金 お一人様 52,000円 **募集人員 40**名(最少催行人員30名)

今般、大本山永平寺様より「焼香師」を拝命いたしました。焼香師とは全国曹洞宗寺院の中から指名され、 道元禅師様のご法要の導師をおつとめするものです。住職としては一世一代のことであり、またお陰様で弟子 秀憲も修行中であり、本当に有難い機会をご本山より賜りました。今から40年前、先代憲一大和尚もおつとめ いたし、檀信徒の皆様もご随伴頂きました。つきましては今回も檀中各位にご随伴頂ければ有難く存じます。 謹んでご案内申し上げます。 住職 祥文 合掌

【コース】 ※全行程貸切バス利用です。 利用バス:大和自動車交通(株)		
主な日程		食事
4 月 23 日		朝食一
	(昼食) 	昼食 🔐
(木)	15:00頃 一 大本山永平寺(宿坊泊)	夕食
4 月 24 日 金	焼香師法要参列 (昼食) 大本山永平寺=== 門前町 井の上 ==== [休憩] ====	朝食 111
	(参観) 17:30頃	夕食
4 月 25 日 (土)	8:30出発 金太郎温泉—— [休憩] —— 西福寺 開山堂 ——	朝食
	(昼食) = 深雪の里 ====小出IC====[休憩3回]=====	昼食
	8:00頃 福島西IC 仲興寺前 長秀院	夕食 -

※当日の交通状況により行程を変更する場合があります。(約90分おきに休憩有) ※人数確定後、集合場所及び時間を記載した最終日程表をお届けいたします。

【申込について】

3月25日(水)までお寺へお申し込み下さい

※人数に達し次第、締切りとなりますのでお早めにお申し込み下さい ※必ず、手紙·FAX·葉書・メール等の残る形でお願いいたします 尚、ご本山で先祖供養をいたしますのでお名前の読みをお伝え下さい

※旅行代金は、3月末日までにお寺へお願いいたします

【添乗員】 全行程同行いたします

【利用ホテル】 大本山永平寺 宿坊

金太郎温泉〈和室または洋室利用〉

1名一室、2名一室等の利用希望の場合は 追加代金を申し受けます。但し、空室が無い等、 ご希望に添えない場合があります。

真宗大谷派 井波別院 瑞泉寺 (ずいせんじ)

明徳元年(1390年)に本願寺5代門主・綽如(しゃくにょ) 上人が開創

彫刻の町井波の寺院らしく数々の彫刻は圧巻です



西福寺 開山堂 (さいふくじ

天文3(1534)年に 建立されて以来、 約500年の歴史を 誇る赤城山西福寺

幕末の名匠・ 石川雲蝶の彫刻 や絵画、漆喰細 工の数々が施さ れている開山堂 があります



開山堂・天井彫刻『道元禅師猛虎調伏の図』↑

旅 行

長秀院 仲與寺

〒960-8156 福島市田沢字寺ノ前18(長秀院) TEL/FAX 024-548-1240

受 注

企

画

企

画

福島県知事登録旅行業3-130 総合旅行業務取扱管理者 佐藤攻

(株)福島ビーエス観光

〒963-8001 郡山市大町二丁目5-14 TEL 024-923-6098 FAX024-939-0630

*総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者 からの説明にご不審な点があればご遠慮なく管理者にお訊ね下さい。

弟子秀憲の水平寺便り

本山の新年

思うからでしょう。 は、日間にいて越年したいと は、ことも多いので、どう は、ことも多いので、どう は、ことも多いので、どう は、ことも多いので、どう は、ことも多いので、どう は、ことも多いので、という方々で大 は、ことも多いので、とう は、ことも多いので、とう

方々の行列が大廊下を埋めつくしていきます。永平寺は、雪景色の越年でしたが、ます。永平寺は、雪景色の越年でしたが、ます。永平寺は、雪景色の越年でしたが、ます。永平寺は、雪景色の越年でしたが、ます。永平寺は、雪景色の越年でしたが、

思って欲しいと念じています。本山にいられる幸せ、有難さを改めてと思います。永平寺で修行できる幸せ、越年となりいろいろ感じるところがある越年となりいろいろ感じるところがある

祥文焼香師を拝命

香師」の辞令を拝命しました。焼香師と令和元年十一月大本山永平寺より「焼

の恒例行事としている人もいるので、

三朝祈祷はたいへんな参拝者の

新たな思いを胸に一年の息災を願い三

帰路につくことを一年

す。 三十~四十名ほど選出指名されるのでことで、全国の住職から毎年、春と秋にお香を供え、供養の導師をおつとめするお香を供え、供養の導師をおつとめするは、ご開山道元禅師はじめ歴代ご住職に

ともにすることができました。き、丁度永平寺修行中の私祥文も法要を先代憲一方丈も昭和五十五年に指名頂

今から四十年前の話なのですが、その今から四十年前の話なのですが、その時を加者の中で最年少の三十四才でしたが、大本堂に、憲一方丈様と四才でしたが、大本堂に、憲一方丈様と四才でしたが、大本堂に、憲一方丈様ととのように思い出されます。」とおっしゃってくださっています。

難い時を頂くことになりました。き、四十年の時間が流れ、このような有きい秀憲の上山中に本山より指名頂

い致します。 (祥文拝記)組み上山したいと思います。宜しくお願四月二十四日の指定ですので、団参を

ご覧ください。 住職 拝団体参拝の詳細は、別面のご案内を